

# 経 済 日 誌

(5 月 中)

- 1日 ○自販連、4月の国内新車販売台数を発表  
国内新車販売台数(含む軽)は、35万4,750台で前年比+9.2%と6か月連続のプラス  
国内新車販売台数(除く軽)は、22万4,220台で前年比+5.4%と9か月連続のプラス
- 米供給管理協会、4月のISM景況指数(製造業)を発表  
総合指数は54.8ポイントと前月(57.2ポイント)から低下
- 3日 ○FRB(米連邦準備制度理事会)、FOMC(米連邦公開市場委員会)を開催(2日～)  
・政策金利(フェデラルファンドレート)の誘導目標レンジを据置き(0.75~1.00%)  
・現行の保有証券の再投資政策を維持
- EU統計局、ユーロ圏の2017年1-3月期GDP(1次速報)を発表  
実質GDP成長率は季調済前期比+0.5%(年率+1.8%)となり、緩やかな回復が継続
- 5日 ○米労働省、4月の雇用統計を発表  
非農業部門の雇用者数は前月比21.1万人増、過去2か月分は修正(3月分は同7.9万人増(△1.9万人)に下方修正、2月分は同23.2万人増(+1.3万人)に上方修正)  
失業率は4.4%と前月(4.5%)から低下
- 8日 ○中国海関総署、4月の貿易収支を発表  
貿易収支は380億ドルと2か月連続の黒字、輸出は1,800億ドルで前年比+8.0%と2か月連続のプラス、輸入は1,420億ドルで前年比+11.9%と6か月連続のプラス
- 9日 ○厚生労働省、3月の毎月勤労統計(速報)を発表  
現金給与総額は前年比△0.4%で6か月ぶりの減少(うち所定内給与は同△0.1%、うち所定外給与は同△1.7%、うち特別給与は同△3.6%)
- 10日 ○内閣府、3月の景気動向指数(CI)(速報)を発表  
先行指数は105.5(前月差+0.8ポイント)で2か月連続の上昇、一致指数は114.6(前月差△0.6ポイント)で2か月ぶりの下降、遅行指数は117.7(前月差+1.8ポイント)で5か月連続の上昇、基調判断は「改善を示している」とし、前月から据置き
- 中国国家统计局、4月の消費者物価上昇率を発表  
総合指数は前年比+1.2%で前月(+0.9%)から伸びが拡大
- 11日 ○財務省、3月の国際収支状況(速報)を発表  
経常収支は2兆9,077億円、前年比△645億円(黒字幅縮小)で33か月連続の黒字
- 東京商工リサーチ、4月の全国企業倒産状況を発表  
倒産件数は680件(前年比△2.1%)と2か月ぶりに前年比マイナス、負債総額は1,040億円(同+0.6%)、倒産企業の従業員数は4,067人(同+30.5%)、上場企業倒産は0件
- 内閣府、4月の景気ウォッチャー調査を発表  
景気の現状判断DIは前月差+0.7ポイントの48.1となり5か月ぶりの上昇、先行き判断DIは前月差+0.7ポイントの48.8となり2か月ぶりの上昇  
景気現状の基調判断は「持ち直しが続いているものの、引き続き一服感がみられる」とし、前月から据置き
- 平成29年第7回経済財政諮問会議を開催  
「金融政策、物価等に関する集中審議」、「経済・財政一体改革④(国と地方)」について議論
- イングランド銀行(BOE)、金融政策委員会を開催し、以下を決定  
・政策金利は0.25%に据置き  
・資産買入れプログラムの規模を4,450億ポンドに据置き
- 12日 ○日本銀行、4月のマネーストック(速報)を発表  
M2は前年比+4.3%、M3は同+3.6%、広義流動性は同+2.7%
- 米労働省、4月の消費者物価指数を発表  
総合指数は前月比+0.2%、前年比+2.2%、食品とエネルギーを除いたコア指数は前月比+0.1%、前年比+1.9%
- 米商務省、4月の小売売上高を発表  
総合は季調済前月比+0.4%、過去2か月分は上方修正(3月は同△0.2%→+0.1%、2月は同△0.3%→△0.2%)  
変動の大きい自動車・建築資材等を除くコアベースは同+0.3%
- 独統計庁、2017年1-3月期GDP(速報)を発表  
実質GDP成長率は季調済前期比+0.6%、年率+2.4%
- 15日 ○日本銀行、4月の企業物価指数(速報)を発表  
前年比+2.1%となり、4か月連続のプラス
- 16日 ○米FRB、4月の鉱工業生産を発表  
生産は季調済前月比+1.0%と大幅な伸び、過去2か月分は修正(3月分は下方修正(同+0.5%→+0.4%)2月分は上方修正(同+0.1%→+0.2%))
- 米商務省、4月の住宅着工件数を発表  
前月比△2.6%の季調済年率117万件

(5 月 中)

<p>17日 ○内閣府、3月の機械受注統計を発表 民需(除く船舶・電力)は季調済前月比+1.4%と2か月連続の増加 基調判断は「持ち直しの動きに足踏みがみられる」とし、前月から据置き</p> <p>○内閣府、2017年1-3月期のGDP(1次速報)を発表 実質GDP成長率は、季調済前期比+0.5%(年率換算+2.2%)となり、5四半期連続のプラス成長 名目GDP成長率は、同△0.0%(年率換算△0.1%)となり、5四半期ぶりのマイナス成長 GDPデフレーターは、同△0.6%となり2四半期ぶりのマイナス、前年比も△0.8%と3四半期連続のマイナス</p>	<p>季調済前月比は+0.5%と2か月ぶりの増加 基調判断は「弱い動きがみられる」として据置き</p> <p>○総務省、4月の労働力調査を発表 完全失業率(季調済)は2.8%で前月と同水準 雇用者数(原数値)は5,757万人で前年比57万人の増加 完全失業者数(同)は197万人で前年比28万人の減少</p> <p>○厚生労働省、4月の一般職業紹介状況を発表 有効求人倍率(季調済)は1.48倍となり、前月比0.03ポイントの上昇、現在の雇用情勢の基調判断は「着実に改善が進んでいる」として2015年8月以来20か月連続据置き</p> <p>○経済産業省、4月の商業動態統計を発表 小売業販売額は前年比+3.2%で6か月連続の増加、季調済前月比は+1.4%で4か月連続の増加 基調判断は「持ち直しの動きがみられる小売業販売」とし据置き</p>
<p>22日 ○財務省、4月の貿易統計(速報)を発表 輸出は半導体等製造装置、鉄鋼等が増加し、前年比+7.5%の6兆3,292億円、輸入は原油、石炭等が増加し、同+15.1%の5兆8,475億円、貿易収支は4,817億円で3か月連続の黒字</p>	<p>○経済産業省、4月の鉱工業指数(速報)を発表 生産は季調済前月比+4.0%、出荷は同+2.7%、在庫は同+1.5% 基調判断は「生産は持ち直しの動きがみられる」とし据置き</p>
<p>23日 ○平成29年第8回経済財政諮問会議を開催 「経済・財政一体改革⑤(社会保障改革②)」, 「未来への投資を実現する経済対策」の執行状況の検証, 「骨太方針に向けて」について議論</p> <p>○米商務省、4月の新築住宅販売件数を発表 前月比△11.4%の季調済年率56.9万件</p>	<p>○国土交通省、4月の建築着工統計を発表 住宅着工総戸数(原数値)は、83,979戸(前年比+1.9%)と2か月連続のプラス、季調済年率は100.4万戸(前月比+2.0%)と2か月連続のプラス</p>
<p>24日 ○政府、5月の月例経済報告を発表 景気の基調判断を「景気は、一部に改善の遅れもみられるが、緩やかな回復基調が続いている」とし、前月から据置き</p> <p>○米商務省、4月の中古住宅販売件数を発表 前月比△2.3%の季調済年率557万件</p>	<p>○中国国家统计局、5月の製造業PMI(購買部担当者指数)を発表 総合指数は51.2ポイントと前月(51.2ポイント)から横ばい、10か月連続で製造業活動の拡大・縮小の分岐点である50ポイントを上回った</p>
<p>26日 ○総務省、4月の消費者物価指数を発表 生鮮除く総合は前年比+0.3%と4か月連続のプラス</p> <p>○米商務省、2017年1-3月期のGDP(2次速報)を発表 実質GDP成長率は前期比年率+1.2%(1次速報+0.7%から上方修正)</p>	<p>東証株価指数(TOPIX)第1部(終値) 月間最高値 1,586.86(11日) 〳 最安値 1,539.77(1日)</p> <p>日経平均株価(終値) 月間最高値 19,961.55円(11日) 〳 最安値 19,310.52円(1日)</p>
<p>○米商務省、4月の耐久財受注を発表 新規受注は前月比△0.7%、設備投資計画の先行指数とされるコア(航空機を除く)非国防資本財受注は前月比0.0%</p> <p>30日 ○総務省、4月の家計調査(二人以上の世帯)を発表 実質消費支出は前年比△1.4%と14か月連続の減少</p>	<p>東京外為市場(円相場、銀行間直物、対1ドル) 月間最高値 110.92円(18日) 〳 最安値 114.21円(11日)</p>